



# ア あなたも私も久木野のみんなで イ いつでもどこでも エ エコアクション! ス すてきな心の オー おもいやり

## はじめに

【久木野小ってどんなところ?】

水俣市の東部に位置し、校区には地域住民の努力によって育てられた分収林があり、「愛林の里」と呼ばれる久木野。東は球磨郡球磨村、南は鹿児島県伊佐市、北は葦北郡芦北町に接する自然豊かなところ。全校児童13名、極小規模校（完全複式3学級）であり、全校仲よく元気に学校生活を送っている。



## 児童の実態と今年度の方向性

子どもたちは自然とふれあう機会（体験活動）が充実しており、「自然を大切にしたい」という思いは強い。また、節水・節電・ごみの分別は意識が高まり、達成率も高まってきている。昨年度の取組から見えてきた課題は、「取組や成果の見える化」と「家庭でのISO活動の推進」であった。

そこで、昨年度までの取組を踏まえながら、今年度も、児童一人ひとりが具体的な行動目標を意識した生活を送り、その積み重ねの中で少しずつ成果が出せる環境活動を目指すことにした。

## 組織作り

みんなで取り組む学校版環境ISO活動は、環境美化委員会が中心となって活動している。



## 1. 宣言

### 久木野小学校版環境ISO宣言 行動目標

- 【節水】 ①水を大切にします
- 【節電】 ②電気を節約します
- 【ごみ減量】 ③ごみの分別・減量をします
- 【環境美化】 ④花いっぱいになります
- 【意識向上】 ⑤自分で決めた環境行動目標を守ります
- 【家庭での実践】 ⑥上の①②③⑤の項目を家庭でも取り組みます

【手立て】

実現するために

【児童】

- 水道は鉛筆の太さで使う。
- コップ1杯の水で歯磨きする。
- バケツの水で雑巾を洗う。
- 誰もいない教室の電気は消す。
- 使わない電気製品のコンセントはぬく。
- 燃やすごみ・廃プラ・紙ごみの3つは特に注意して分ける。
- 給食は残さない。
- 花壇や学級園の草取り、手入れ。

【職員】

- コップ1杯の水で歯磨き。
- バケツの水で雑巾を洗うよう指導し、一緒に掃除する。
- 明るさをみて照明量を調整。
- 身の回りの電気製品のスイッチをこまめに切る。
- ごみ分別の徹底。職員への配付資料は裏紙使用。
- 給食は残さない。
- 運動場の草取りや石拾いをする。

【数値目標】 水及び電気の使用量昨年度比5%減

今年度の行動目標として「節水」、「節電」、「ゴミの減量」、「環境美化」「自分の目標」、「家庭でのISO」の6つの項目を設定した。

また、本年度は、「愛林教育」との関連を図り、自分の行動が環境に影響を与えていることを、体感できるようにした。



【環境美化委員会の発表】

Q: 去年、電気の使用量が一番多かったのは何月でしょう?

Q: 去年、学校で使った水は、プールいっぱいの水より多い。○か×か?

自分たちの電気使用量や水使用量を考えるために、クイズを行った。

久木野小学校のキャラクター「くぎのん」からのメッセージを入れた「環境ISO行動目標」をISOコーナーや各教室、職員室など様々な場所に掲示している。

## 2. 行動

具体的な取組

【節水の取組】



縦割り班掃除時におけるバケツを使っている雑巾洗いは、定着してきている。水の量もバケツの半分程度にするなど、使用する量にも気を配っている。

【節電の取組】

児童の係活動の一環として、移動教室の際に電気を消すようにしている。また、その日の天候に応じて、掃除時間は蛍光灯を消すなど照明量の調節をしている。



【ごみ減量の取組】



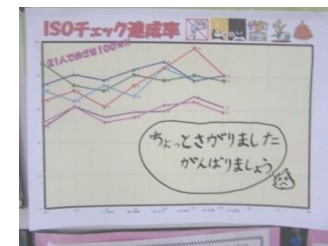
裏紙として利用できるプリントや色画用紙の切れ端を再利用するために、教室に専用ボックスをおいている。また、ミスプリントを再利用することを職員が意識している。

【環境美化の取組】

全校一斉の業間活動「エコタイム」を活用して、花の苗植え・花壇の整備等を行っている。苗を種から育て、花いっぱいの学校を目指している。



【意識向上の取組】



ISOチェック項目で達成率が低かった項目を、毎月掲示物で知らせている。また、委員会からのコメントを記入し、ISO活動への意識を高めるようにしている。

【エコタイム】



毎月『エコタイム』という時間を設け、特別教室や外庭の掃除を行ったり、花を植えたりし、学校の美化に努めている。プランターや鉢、花壇に植える苗は、職員と児童のボランティアが種から育てている。育った苗は、地域の方々に学期に1回ずつプレゼントとして配付することができ、大変喜ばれた。

【花畑公園整備】



プール横の空き地の手入れがなかなかできず、マムシが出るなど、荒れた土地になっていた。本年度は、地域の方の憩いの場となるように、桜や楓等の樹木の植樹や花壇を作成した。整備には地域の方々にも協力していただき、見違えるような美しい環境となった。

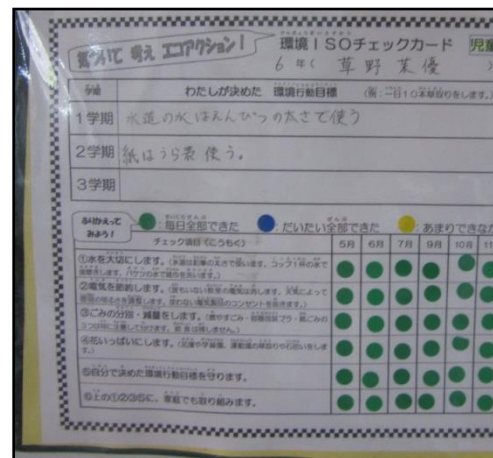
【地域の自然を生かした活動・資源回収への参加】



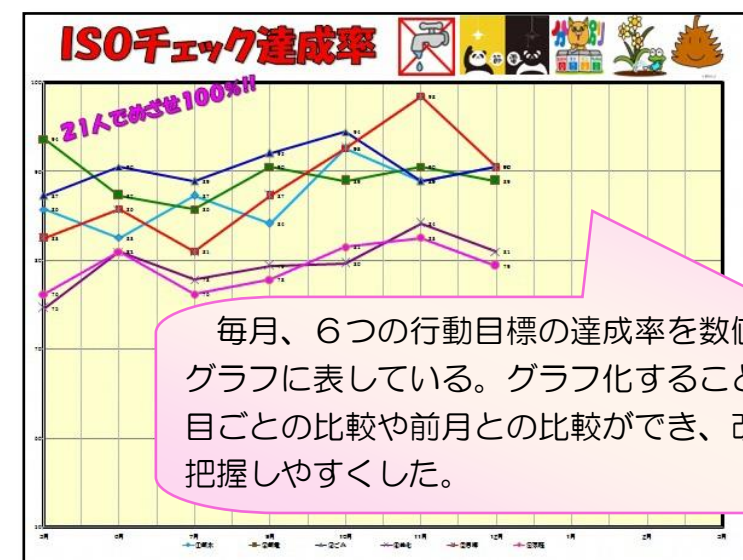
土曜授業では、地域の自然を生かした活動を積極的に取り入れている。また、PTAの資源（ビンやアルミ缶）回収活動の際には、子どもたちも保護者や地域の方と協力しながら活動している。

3. 記録

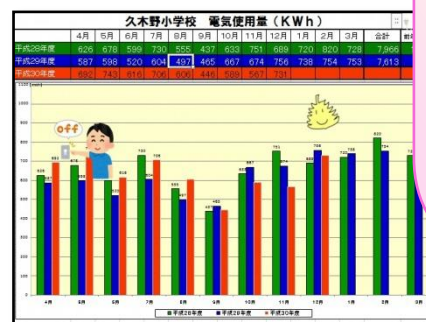
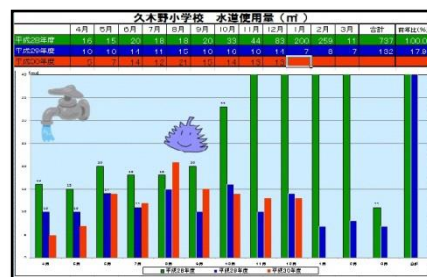
【チェックカードとその達成率】



6つの行動目標について、月ごとに振り返っている。また、全児童・全職員のチェックカードをISOコーナーに掲示し、一人ひとりの取り組みの様子や変化を確認できるようにした。



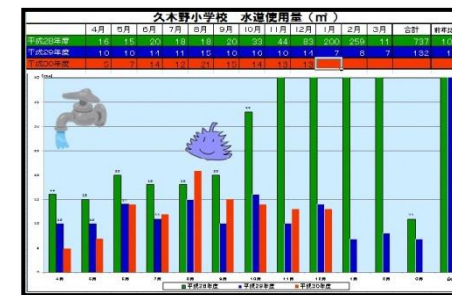
毎月、6つの行動目標の達成率を数値化し、グラフに表している。グラフ化することで、項目ごとの比較や前月との比較ができ、改善点を把握しやすくなった。



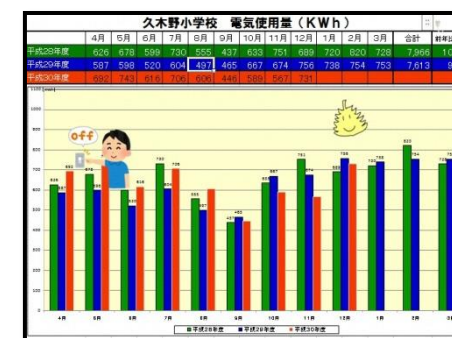
毎月の水道・電気使用量を調べて記入し、グラフ化している過去2年分の数値とグラフも一緒に掲示することで、その変化や取組の成果を比べられるようにしている。

4. 見直し（成果と課題）

【使用量のグラフから】



水の使用量は、昨年度を下回り、前年度比5%減が達成できそうである。夏場の水の資料量が多くなっているが、猛暑のため、花壇への水かけをこまめに行ったためと思われる。



電気使用量は、昨年度より増加している。猛暑のため、冷房機器の使用時間が長くなったためと思われる。結果については今後、委員会で報告する予定である。

【行動目標の達成率から (%)】

	①節水	②節電	③ごみ減量	④環境美化	⑤意識向上	⑥家庭実践
昨年度末	79	87	87	73	87	68
5月	86	94	87	75	83	76
12月	90	89	90	81	90	79

5月と12月の達成率を比較すると、「環境美化」「家庭での実践」に関しては大きく上昇したが、「節電」で下降している。

また、昨年度からの課題であった「家庭実践」に関しては、80%近くまで達成率の高まりが見られた。

【成果と課題・今後の方策】

- 行動目標の振り返りを毎月行い、それを「見える化」することで成果が感じられ、意識して行動しようとする児童が増えている。
- 学校での取組を地域に広げたことで、地域の方々から感謝の言葉を直接聞くことができ、児童が意欲的に活動することができた。
- 環境美化委員会の活動が、単発的になっていたため、継続できる取組を行いたい。また、やらされる活動ではなく、自分たちでアイデアを出し、積極的に活動できるようにしていきたい。